



TITLE:

和歌山県白浜産2種のヒザラガイ類
(軟体動物門, 多板綱)の中間坂上に
着生・成長した大型の付着動物

AUTHOR(S):

久保田, 信; 吉岡, 英二

CITATION:

久保田, 信 ...[et al]. 和歌山県白浜産2種のヒザラガイ類(軟体動物門, 多板綱)の中間坂上に着生・成長した大型の付着動物. 南紀生物 1998, 40(1): 137-138

ISSUE DATE:

1998-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188266>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

短 報

和歌山県白浜産 2 種のヒザラガイ類（軟体動物門，多板綱）の中間板上に着生・成長した大型の付着動物

久 保 田 信*・吉 岡 英 二**

Shin KUBOTA and Eiji YOSHIOKA: Epizoic animals attached and grew on the median valves of two species of chitons (Mollusca, Polyplacophora) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

和歌山県田辺湾に浮かぶ島島や白浜町臨海の番所崎周辺の海岸では、岩礁や転石の裏側などにヒザラガイ類が豊富に見られる（時岡・山本，1982；西村，1992などを参照）。これらの生息地およびその近隣地点において、ババガゼ類を除く他のヒザラガイ類上に、肉眼で容易に判別できるほどの大型の付着動物の着生・成長を報告した例はない。ところが、上記の海域で、主に潮間帯付近に生息する 2 種のヒザラガイ類の中間板上に、定在性多毛類カンザシゴカイ科の 1 種ヤッコカンザシ *Pomatoleios kraussi* (BAIRD) や無柄目蔓脚類イワフジツボ科の 1 種イワフジツボ *Chthamalus challenger* HOEK の複数個体の着生・成長が、少なくとも 3 個体に見られたので報告する。ヤッコカンザシやイワフジツボは、ヒザラガイとともに、田辺湾周辺海域では主として潮間帯に生息する、最も普通に見られる海産無脊椎動物である（時岡・山本，1982；時岡・原田・西村，1972などを参照）。

記録 1. ケハダヒザラガイ *Acanthochitona defilippii* (TAPPARONE-CANEFRI) に着生・成長した多数のヤッコカンザシ *Pomatoleios kraussi* (BAIRD)

採集場所 和歌山県田辺湾島島の外洋側の礫浜の転石の裏

水深 潮間帯

採集年月日 1997年 8 月 5 日

ケハダヒザラガイの大きさ

体長・最大体幅 57 mm・40 mm

ヤッコカンザシの付着状況（図 1）

第 2, 3, 4, 6 殻板上に、それぞれ 3, 5, 5, 4 個体（計 17 個体）が見られ、この内の少なくとも 8 個体は生存

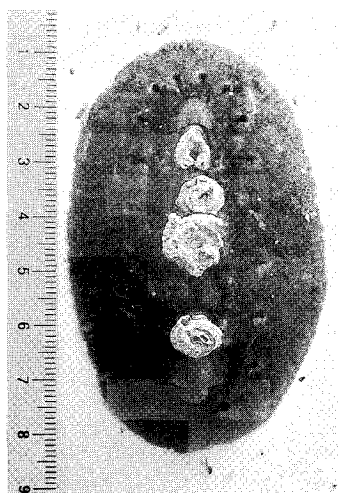


図 1 白浜産ケハダヒザラガイの第 2, 3, 4, 6 殻板上に着生・成長した計 17 個体のヤッコカンザシ。

Fig. 1. A total of 17 individuals of *Pomatoleios kraussi* attached and grew on the 2nd, 3rd, 4th and 6th median valves of *Acanthochitona defilippii* from Shirahama.

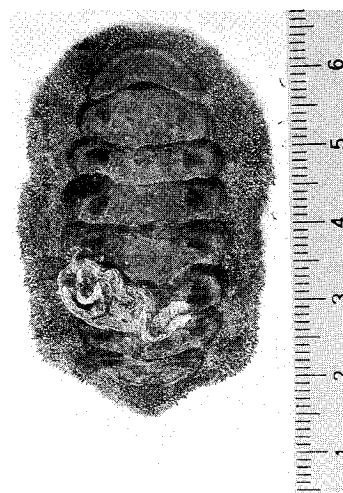


図 2 白浜産ヒザラガイの第 6 殻板上に着生・成長した 5 個体のヤッコカンザシ。

Fig. 2. Five individuals of *Pomatoleios kraussi* attached and grew on the sixth median valve of *Acanthopleura japonica* from Shirahama.

* 京都大学瀬戸臨海実験所（〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海）

** 神戸山手女子短期大学（〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6 丁目）

* Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

** Kobe Yamate Women's College, Nakayamate-dori 6, Kobe 650-0004, Japan



図3 白浜産ヒザラガイの第5殻板上に着生・成長した2個体（すべて死亡）のイワフジツボ。

Fig. 3. Two individuals of *Chthamalus challengerii* (all died) attached and grew on the 5th median valves of *Acanthopleura japonica* from Shirahama.

記録2. ヒザラガイ *Acanthopleura japonica* (LISCHKE) に着生・成長した複数のヤッコカンザシ *Pomatoleios kraussi* (BAIRD)

採集場所 和歌山県白浜町臨海番所崎の岩礁上
水深 潮間帯

採集年月日 1997年9月17日

ヒザラガイの大きさ

体長 54 mm

ヤッコカンザシの付着状況（図2）

第6殻板上にのみ5個体が見られ、いずれも生存

記録3. ヒザラガイ *Acanthopleura japonica* (LISCHKE) に着生・成長した複数のイワフジツボ *Chthamalus challengerii* HOEK

撮影場所 和歌山県白浜町臨海番所崎の岩礁上

水深 潮間帯

撮影年 1983年（春季）

イワフジツボの付着状況（図3）

第5殻板上に計2個体が見られ、いずれも死亡

謝 辞

原稿を査読して下さった斉藤寛博士と野田泰一氏に感謝します。

参 考 文 献

- 西村三郎編著. 1992 : 日本海岸動物図鑑[I]. 425 pp, 72 pls. 保育社, 大阪.
- 時岡 隆・山本虎夫. 1982 : 第3編 海の生物. in 白浜町誌自然編 白浜の自然, pp. 165-272. 白浜町.
- 時岡 隆・原田英司・西村三郎共著. 1972 : 海の生態学. 317 pp. 築地書館, 東京.

南 紀 生 物

第40巻 第1号 別刷

Reprinted from
NANKISEIBUTU : The Nanki Biological Society

Vol. 40, No. 1
May 1998